

平成29年度全国学力学習状況調査修善寺小学校結果

1 テストの概要

- (1) 国語A 基礎的・基本的な知識技能が身についているかどうかをみる問題
例) ・文の中の主語及び主語と述語との照応関係を捉える。
・提案の内容に対する聞き方の様子から、聞き方の工夫として適切なものを選択する。
- (2) 国語B 基礎的・基本的な知識技能を活用することができるかどうかをみる問題
例) ・目的や意図に応じ、新聞の割り付けをしたり、見出しや記事を書いたりする。
・物語の登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉えるとともに、登場人物の気持ちの変化について想像しながら音読する。
- (3) 算数A 基礎的・基本的な知識技能が身についているかどうかをみる問題
例) ・計算の結果のおよその大きさとしてふさわしい数値を選ぶ。
・180度よりも大きい角の大きさを求める。
- (4) 算数B 基礎的・基本的な知識技能を活用することができるかどうかをみる問題
例) ・日常の事象の解決に図形を見だし、その性質を記述する。
・基準量、比較量、割合の関係を基に、示された求め方の誤りを指摘し、正しい求め方を記述する。

2 テスト結果 ○特に良かった内容 ●努力を必要とする内容 □今後の対応

- (1) 国語A 全国 74.8 % 静岡県 74.0 %

○俳句の情景を捉える問題がよくできていました。

○ことわざの意味を理解して、自分の表現に生かす問題ができていました。

●「最も適切なものを選ぶ」という問題ができていませんでした。

●漢字は、できている問題とできていない問題とに分かれていました。

- (2) 国語B 全国 57.5 % 静岡県 59.0 %

○登場人物の相互関係と心情や場面について考える問題がよくできていました。

●目的や意図に応じて必要な内容を整理したり、構成を考えたりする問題ができていませんでした。

漢字の読み書きは、普段の漢字テストのようは形式でなく、ちらしに書いてある平仮名を漢字に直すというものでした。例えば「たいしょう」は「対象」「対照」「対称」と思いつく漢字が3つありますが、どれがそのちらしの中に当てはまるのかを判断しなければいけません。このような問題にも取り組んでいきたいと思えます。

また、選択肢の中から最も適切なものを選び出すという問題は、どれも当てはまりそうで迷うのですが、問題文をしっかりと理解して冷静に判断することが必要です。それには、ボリュームのある問題文から、はやく問題の意味を読み取る力もつけていかなくてはなりません。

(3) 算数A 全国 78.6% 静岡県 78.0%

○計算問題はできていました。

○最小公倍数を求める問題ができていました。

●1より小さい小数をかけるかけ算を数直線に表すことができていませんでした。

●長さや重さを比べるときに、単位量で比べている図を読み取ることができていませんでした。

●二次元表の合計欄に入る数字を求めることができていませんでした。

(4) 算数B 全国 45.9% 静岡県 46.0%

●長文の問題文の意味を読み取って答えを出すということができていませんでした。

●問題文の多くの情報の中から必要な情報だけを選び出し、正しい答えを出すということができていませんでした。

●算数Aの問題にもあった二次元表の問題ができていませんでした。

基礎基本の定着につながる地道なドリル学習を続けてきた成果は出ていたと思います。できなかった問題の傾向として、問題文が長い問題や、多くの情報の中から必要な情報だけを選び出して答えを導き出す問題等が挙げられます。いずれも生活の中から出題されているような問題であるので、普段の生活の中からの問題を解いていく活動を取り入れていきます。また、何段階もステップをクリアしていくと正しい答えが導き出されるというような問題も積極的に取り組んでいきますが、個人差が大きいいため、個に応じた指導が必要であると考えています。

(5) 学習状況調査より

1 自分自身に関すること

○学校のきまりを守っていますか。

●ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか。

●自分によいところがあると思いますか。

●授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか。

●学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか。

●外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。

決められたルールはしっかり守ることができています。

学校生活を前向きに楽しもうとする子はたくさんいるのですが、そうでない子もいます。友達との関わりについても、上手につきあっている子が多いのですが、そうでない子もいます。外国に興味を持ったり外国の方と友達になったりしてみたいと思う子が少ないのも、少し残念な気がします。自分を表現し、新しい世界に挑戦できる子を育てていきたいですね。一昨年度、昨年度も同じような傾向でしたが、難しいと思えることでもチャレンジしてみるということが弱点になっています。失敗を恐れず挑戦した先に満足感や達成感があり、そのような経験が自己肯定感につながります。

2 家庭や地域での生活

- 朝食を毎日食べていますか。
- 家で、自分を計画を立てて勉強をしていますか。
- 家で、学校の宿題をしていますか。
- 家で、学校の復習をしていますか。
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか。
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがありますか。
- 新聞を読んでいますか。

ご家庭でのご協力により、朝食を毎日食べている子がほぼ100%でした。学校の宿題や授業の復習を自分で計画を立ててしている子が多いことが分かりました。地域の行事によく参加していることは、修善寺小学校の自慢できるところです。

テレビを見たりゲームをしたりするときにルールは決めているでしょうか。好きな子はやり始めるとなかなか終われないのではないかと思います。けじめをつけてメリハリのある過ごし方をしたいですね。

3 学習状況

- 5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。
- 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。
- 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。
- 国語の勉強は好きですか。
- 国語の勉強は大切だと思いますか。
- 読書は好きですか。
- 算数の勉強は好きですか。
- 算数の勉強は大切だと思いますか。
- 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。
- 算数の問題の解き方は分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。

修善寺小学校がこれまで取り組んできた研修では、自分の考えを友達の前で発表することは重要であると考え、実践してきました。子どもたちにも意識はできていると思います。ただ、発表することが得意であるかは、別のようにです。昨年度の6年生は「友だちの前で自分の考えや意見を発表することが得意だ」という子が多かったのですが、今年度は残念ながら、得意だと答える子は少なかったです。その年の児童の実態により、かなり表れが違ってきます。

また、自信を持って「国語や算数の授業が好きだ」と言える子どもの割合も低い結果となりました。粘り強く学習する力や挑戦する力等、課題も多く見えてきました。2学期の6年生の様子では、難しい問題にも諦めずに取り組む姿が見られ、1学期とは変わってきた印象があります。アンケート結果から見えてきた課題をクリアしていけるように努めていきたいと思っています。